

科学から芸術へ

田原市博物館 企画展

日本ボタニカルアートの巨星

太田洋愛展

Yoai Ohta

さくら

桜の能手、太田洋愛が描いた

国立科学博物館所蔵の桜の原画70点をはじめ、

スケッチ、原画を一挙公開。植物画家・太田洋愛の画業を回顧。



1

1: エゾヤマザクラ(北海道厚岸町)
紙/水彩 制作年不明 国立科学博物館

2: 染井吉野(静岡県三島国立遺伝学研究所)
紙/水彩 1965(昭和40)年 国立科学博物館

3: 火打谷菊桜(現石川県農林総合研究センター林業試験場)
紙/水彩 1971(昭和46)年 国立科学博物館

2



3



2021(令和3)年 10.2[土]—11.28[日]

開館時間 | 9時～17時(入館は16時30分まで) 休館日 | 毎週月曜日(10/11[月]は開館)、10/12[火]

観覧料 | 一般600円(480円) 小中学生300円(240円)

※()内は20人以上の団体料金

※東三河在住・在学の小中学生は、ほの国こどもパスポートの提示で観覧料無料

主催 | 田原市教育委員会、田原市博物館、公益財団法人華山会、中日新聞社

協力 | 愛知県立成章高等学校創立120周年記念事業実行委員会

同時開催
華椿系から見る草花
(特別展示室)

田原市博物館

入場割引券
本券を博物館
でお持ち
ください。



スケッチブックを持つ太田洋愛 1981(昭和56)年頃
自宅にて

太田洋愛(1910～1988)は、田原市出身の日本を代表する植物画家で、ボタニカルアートの普及発展を進めたことでも知られています。地元の成章中学校(現在の成章高校)卒業後、満洲に渡り、植物学者の大賀一郎博士に植物画を学び、「日本の植物学の父」と呼ばれた牧野富太郎博士からも指導を受けました。

終戦後、3年間のシベリア抑留を経て帰還。東京に出て本の挿絵、教科書や百科事典の植物の原画を手がけ、日本山林美術協会、日本理科美術協会の創立などに携わり、1970(昭和45)年には植物画を芸術とする「日本ボタニカルアート協会」を創立させました。

また、洋愛は桜に魅せられ、毎年桜の開花時期に日本各地を写生で巡り、大井次三郎博士との共著で1972(昭和47)年に図譜『日本桜集』にまとめました。この間に岐阜県の白川村で新種のサクラを発見し、彼の名を取ってオオタザクラと命名されています。『原色日本のラン』、『原色図譜園芸植物』等の原画、『太田洋愛画集』、『花の肖像』などの著作、画集があります。

科学から芸術へ

田原市博物館 企画展

日本ボタニカルアートの巨星

太田洋愛展



◎オンラインワークショップ

お花の
プレゼント

太田洋愛の愛弟子

杉崎紀世彦・杉崎文子のボタニカルアート講座

日時 | 2021年10月17日[日] 13:30～15:30

会場 | 華山会館レセプションホール(田原市博物館となり)

定員 | 20名(申込多数の場合は抽選) 初心者でも大丈夫です
参加費 | 500円

申込 | 電話で受付(0531-22-1720まで)

◎ギャラリートーク(学芸員による展示説明)

お花の
プレゼント

日時 | 2021年10月2日[土] 11:00～12:00

2021年11月3日[水・祝] 13:30～14:30

定員 | 20名程度(先着順)

講師 | 当館学芸員 事前申込不要

プレゼント協力: イノチオ精興園株式会社

◎渥美半島の花のプレゼントと販売

日時 | 2021年10月2日[土]、3日[日]

先着50名への花のプレゼント(JA愛知みなみ)と、地元の
花の販売(あかばね口コステーション)があります。

1	2	3
4		5

1: 原色図譜園芸植物 露地編 さつきつつじ原画
紙/水彩 1981(昭和56)年 国立科学博物館

2: 原色図譜園芸植物 温室編 アンスリウム原画
紙/水彩 1981(昭和56)年 国立科学博物館

3: パラ(ジョン・F・ケネディ) 紙/水彩 1981(昭和56)年
個人蔵

4: 花の岬 紙/水彩 1978(昭和53)年 個人蔵

5: マムシグサ及びその解剖図(三河田原にて) 紙/水彩
1968(昭和43)年 個人蔵

○新型コロナウイルスの影響により、展示やイベントを中止
する可能性があります。最新の情報は当館のホームページ
等にてご確認ください。

- JR・名鉄「豊橋」駅から豊橋鉄道渥美線乗車「三河田原」駅下車、
徒歩15分(田原城跡内)
- 豊鉄バス伊良湖本線・支線「田原萱町」下車、徒歩10分
- 田原市ぐるりんバス「博物館入口」下車、徒歩3分

田原市博物館

〒441-3421

愛知県田原市田原町巴江11-1

TEL 0531-22-1720

http://www.taharamuseum.gr.jp



ホームページ



Instagram

ご来館に
あたって

新型コロナウイルス 感染症予防について

○発熱・咳等の風邪症状がある方はご来館
前に医療機関にご相談ください。また、
展示ケース、壁などを触らないでください。

○入館後は、身体的距離の確保、マスクの
着用、手指の消毒にご協力ください。また、
展示ケース、壁などを触らないでください。